

皆様には日頃からファミリーハウス活動に對しましてご理解、ご支援を賜り心からお礼申し上げます。

我々の活動に賛同する皆様、ボランティアとして支援いただく皆様のお力で、小児がんなどの難病治療などで長期間の入院と高度医療（骨髄移植や手術・放射線治療など）を受ける患者さんとご家族にとって、少しづつではあります但し安心して与える一助となつていてと思います。もちろん札幌以外から通院される方にとつても有用なものと考えております。

ファミリーハウスの運営につきまして、医療技術の進歩で入院期間の短縮や、

利用する方のプライバシー確保に對する要望が強くなる傾向にあります。このようなことから、従来の大家さんが管理・提供するファミリーハウスおよび、企業ボランティアとして提供されるホテル（登録ホテル）におかれましては引き続きご協力いただくとともに、今後は北海道ファミリーハウスとして独自にできる体制を整えていくことも視野に入れ、利用される皆様にとつて有用な情報提供を進めていきたいと思つています。

また、病院で治療を受けている子どもたちの笑顔づくりのために、院内での演

劇やクリスマス会なども他団体と協力しながら取り組んでまいりたいと思つています。一日も早く病気が快復し、自宅で家族と一緒に暮らしたいが訪れるよう微力ながらファミリーハウス活動に取り組んでいきます。引き続き皆様のご理解とご支援をお願いいたします。



特定非営利活動法人  
北海道ファミリーハウス  
理事長 南谷 晴之



北海道ファミリーハウス  
—NPO法人—  
**北海道ファミリーハウス通信**

2017年12月25日発行/No.20

発行:NPO法人北海道ファミリーハウス  
責任者:事務局長 大西 可奈  
060-0807札幌市北区北7条西6丁目  
TEL (011)716-4161 FAX (011)716-4162

## ファミリーハウスの自主運営をめざして

# ファミリーハウスを持つこと

ご寄付いただきました  
片山ナツさま  
心から  
感謝申し上げます



平成二十九年十二月六日に、毎年開かれる北大病院クリスマス会で、今年も木製オーナメントをプレゼントしました。

### 北大病院クリスマス会で 木製オーナメントをプレゼント



▲木製のオーナメント



北大病院で  
演劇を上演

平成二十九年九月六日、北大病院の体育館で劇団「風の子」による演劇「どさんこぴーひゃらあそび組」を上演しました。

小児で治療を続けている子どもたちを招待し、楽しいひとときを過ごしました。

体育館には子どもたちの歓声が響き渡り、あつという間に終演となりました。



# 「そらぶちフェスティバル スペシャルセレモニー」に 10月9日(月・祝) ビッグゲスト!

滝川市にある「そらぶちキッズキャンプ」。ここは、アジアではじめての「病気とたたかう子どもたちのための自然体験施設」として今注目が集まっています。

医療施設を備え、特別に配慮された施設やプログラムで創る夢のキャンプ。病気の子どもたちやその家族が、自然の中で病気のことを忘れ、笑顔で楽しい時を過ごし、「楽しい思い出」「すばらしい仲間」「生きる力」「希望」を得ることができるところを提供しています。

この考え方は、ファミリーハウスが進める活動と合致するところも多く、支援の仕方に違いがあるものの「子どもたちの笑顔づくり」という共通の目標に向けて引き続き支援に取り組んでいきます。

世界中にあるそらぶちキッズキャンプと同様の施設を束ねている「シリアルファン・チルドレンズ・ネットワーク」という団体があります。映画俳優・故ポール・ニューマンさんが始めたこの団体に、そらぶちキッズキャンプが正会員に認定されて一年になりました。



▲クレア・ニューマンさん(中央)

それを機に、今年のイベントには団体の広報担当であるクレア・ニューマンさんが視察に訪れました。



▲クレア・ニューマンさんと記念撮影

キャンプ内を視察後、イベントではトークショーに参加し「子供が楽しむことが何よりも大切」と語ってくれました。



▲感謝状をいただき、お礼の一言

## ▼高橋はるみ北海道知事がご挨拶



▲ニューマンさんの視察を伝える新聞記事 (『北海道新聞』より)



## 滝川市丸加高原



<http://www.solaputi.jp>  
(記事出所：そらぶちキャンプHPなど)

## ホテルさつぽろ芸文館 閉館

北海道ファミリーハウス設立当初から、客室を提供していただきましたホテルさつぽろ芸文館様が、平成三十年代に閉館することになりました。

これまでたくさん入院患者の付き添いのご家族様に心温まるご支援をいただきましたこと、心より御礼申し上げますとともに、感謝申し上げます。



ファミリーハウス運動は、施設のオーナーさま、ホテルの社会貢献など多くのボランティアに支えられています。